

きらり四日市人

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

放送日時：8月11日～9月10日
6：40・20：30

(土・日曜日は6：40を9：00に変更)



いえ き ひろ みつ
家城宏光さん

台座の上に立ち、首を伸ばせば全高9mにもなる日本一大きなからくり人形「大入道山車」(県指定 有形民俗文化財)の人形師であり、現在は、大入道山車保存会の会長として、次世代の人形師育成にも尽力されている家城宏光さんにお話を聞きました。

○大入道に携わり、半世紀以上

高等学校卒業後すぐ、初めて人形師として大入道の中に入りました。それから50数年間、大入道に携わっています。「大四日市まつり」や秋に開催される「四日市祭」だけではなく、依頼を受けて、市外のまつりや文化祭に行くこともあります。

大入道は、台座の中に6人(銅鑼と太鼓を鳴らす人が各1人、体を動かす人が1人、目と舌を動かす人が1人、首を動かす人が2人)、人形の中で腕を動かす人が2人、計8人で動かしています。私はこれまで全ての役を経験してきました。

現在はその経験を生かし、次世代の人形師を育成するために中には入らず、山車のすぐそばから声を掛けたりして、指導をしています。

○次世代の人形師育成のために



若い人たちが覚えやすいように、大入道を操るロープを、赤や緑の色が付いたロープに変えました。

また、練習をする時には、壊れてもいいからとにかくやってみるようにと伝えています。

8本のロープを使い分けて大入道を操ります

○受け継いできたものを大切に守り、後世に伝えていくこと

維持していくことがしんどいと感じることもあります。中のロープが切れてしまい修理が必要になることもよくあるし、年に数回の演技の中で、若い人たちにやり方を覚えてもらうことはやはり大変です。

だけど私自身、まつりが好きだから、こうして続けられています。

大入道は、中納屋町の宝であり、四日市の誇れる山車だと思っています。受け継いできた宝を、後世に伝えていかなければいけないという思いで、保存会の会長をやっています。

○やりがいを感じる瞬間

演技をしている時は、外の様子は見えませんが、皆さんの歓声は聞こえます。

熱気のこもる山車の中で、汗だくになりながら重いロープを引っ張ることは大変ですが、たくさんの人に演技を見てもらえることは嬉しいです。楽しいし、やりがいがあるから、みんな続けていけるのだと思います。



首が倒れる瞬間は、一段と歓声が上がります

有料広告掲載欄

くわしん

カーライフローン

平成25年4月1日(月)～平成25年9月30日(月)

【適用金利】

5年以内 年1.70%～年2.50%
5年超8年以内 年2.70%～年3.50%

※ 詳しくは、右記店舗窓口までお問い合わせ下さい。

■お使いみち

新車・中古車の購入、車検・車の修理費用、免許取得費用他、お車に関する資金。

■ご融資金額

500万円以内

■ご返済期間

3ヶ月以上8年以内

桑名信用金庫

四日市西支店
TEL 351-2577
生桑支店
TEL 332-8181
羽津支店
TEL 332-2233
大矢知支店
TEL 364-3311
川越支店
TEL 364-8811

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

四日市の 地区自慢

楠

みんなで作る うるおいのまち楠

平成17年2月に合併した楠地区は、市内南部に位置し、地区の東側を伊勢湾を望む砂浜の自然海岸である吉崎海岸、北側には鈴鹿川本川と、中央部には鈴鹿川派川が流れ、地区内の水路では、海沿いの地区では珍しいゲンジボタルを観察することができます。

このように自然に恵まれた当地区では、「みんなで作る うるおいのまち楠」をキーワードに、住民参加によるまちづくりを進めています。

◆田んぼに絵を描こう！～田んぼアート～

平成22年に始まった田んぼアートも今年で第4回を迎えました。葉の色が緑、紫、黄、白の4種類のもち米の稲を使って、田んぼ全体をキャンバスに見立てて絵を描きます。第2回からは田んぼに描くデザインを楠小学校児童と楠中学校生徒の皆さんから募集しており、毎回趣向を凝らした、楠地区をアピールするデザインが多数寄せられます。また、田植えだけにとどまらず、秋には、黄金色に実った稲を刈り取り、収穫したお米を使って、地元で開催されるイベントで餅つきを行っています。イベントの実施については、地元自治会や農業者団体の支援を受けながら進めています。

※田んぼアートの見頃は、毎年6月下旬～7月中旬ごろです。
近鉄塩浜駅～北楠駅間の楠町小倉地内の線路西側の田んぼで見ることができます

今年の田んぼアート
「葉に止まるホタル」
※オレンジ色ののぼりが目印です



昨年の田んぼアート
「翼を広げたユリカモメ」

吉崎海岸で5～6月ごろに咲く、
ハマヒルガオ



吉崎海岸全景
(北から南を望む)

※バイオマスとは、動植物などから生まれた再生可能な資源のことであり、木片などを燃料として燃やすことにより水を熱して、その水蒸気でタービンを回して行う発電をバイオマス発電と言います

◆砂浜の自然海岸～吉崎海岸～

鈴鹿川本川の河口に位置する吉崎海岸は、アカウミガメの繁殖地域の一つである砂浜の自然海岸で、年間を通じてさまざまな動植物を観察することができます。また、ボランティアによる定期的な海岸清掃や外来種植物の除去作業も行われています。これまで砂浜に流れ着く多くの流木を市の処分場へ運搬していましたが、昨年度からは、松阪市にある木質バイオマス発電関連の組合に無償で引き取ってもらい、バイオマス発電(※)の燃料として、活用してもらっています。

問い合わせ先

楠総合支所まちづくりグループ
(☎398-3111/FAX397-5754)

有料
広告
掲載
欄



マスコットキャラクター「ココロくん」

LPガスと太陽光発電など、複数の
エネルギーを有効に組み合わせ、
エコと快適を両立した
ライフスタイルを提案します。

エネルギーと住まいの
朝日ガスエナジー株式会社

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail info@asahigas.co.jp

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。